

# カレンダー制作

## 教科・場面

みる・きく

## 授業・実践のねらい

季節に因んだ絵本の読み聞かせをし、その追体験を通してカレンダー制作をしていく。

## 対象の児童・生徒

中学部1～3年生 7名

## C 類型

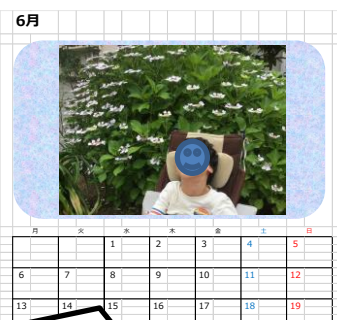
重度重複 スコア

要求表出・人間関係

I～IVまで幅広い実態

7名中6名は車椅子を使用している。コミュニケーションに関しては動きかけに対して身振り、発声で応答する生徒、「はい」と返事ができる生徒、表情や視線で表出する生徒など実態は様々である。

## 教材・教具



## 工夫したところ

学校内で季節を感じられる所を背景に設定することにより、身近に感じられるようにする。  
それ以外は自分達で、季節を感じられるよう活動しながら背景を制作する。  
次の年のカレンダーを作る。

## 授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・絵本の設定は、特にカレンダーの背景に関するものを中心に設定する。
- ・ただ、散歩するだけでは授業として成立しにくい所を、目的をもって活動できる。
- ・季節の遊び等、その時期（節分など）が過ぎてしまうと授業の題材として取り上げにくいですが、カレンダー撮影という目的があれば、多少前後しても成り立つ。

## 授業・実践を通じた児童生徒の変容

授業の目的が1年間カレンダー制作をするという事で生徒にとっても解りやすく取り組めた。  
1年間撮ってきた写真を冊子にして、来年度のカレンダーとしてプレゼントすることにより、振り返りを行うことができる。